「いのちの授業」を行いました

（R8.9.18）

岐阜県総合医療センター新生児内科　主任医長の寺澤大祐先生をお招きし「いのちの理由　コウノドリの現場から、あなたへ」と題した、いのちの授業を実施しました。

赤ちゃんのお医者さんとして日々、未来あるいのちを守り、いのちに向き合い続けている先生の思いに胸が熱くなりました。何気ない日常に感謝すること、奇跡の連続で今ここに生きていることを教えていただき、「いのちの理由」について深く考えることができる時間となりました。今回の講話で感じたことや学んだことを忘れずに、かけがえのない「いのち」を大切に、これからも生活を送ってほしいと思います。

【生徒感想】

- 赤ちゃんの頃、少しだけ治療室にいたが、親から深く聞いたことがなかったので、これを機に聞いてみようと思った。また治療をしている人は、赤ちゃんを生かしてあげたいという強い思いでしていることを知って、より自分の命に感謝して生きていきたいと思った。
- 一日、何十人も何百人も何千人もの尊い赤ちゃんが産まれる中で、命のタイムリミットが短い子がいると改めて知り、その子たちの分まで死ぬまで一生懸命、笑顔で生きぬきたいと感じた。
- 今日まで不自由なく育ててきてくれている親に感謝の気持ちをもって生活していきたいと思った。大切な人と過ごせるのも当たり前ではないので、１日１日を大切に過ごしていきたい。
- 生きているのは当たり前じゃないし、生きてこられたのは、ひとりじゃなかったから。私が生まれてきた理由は、家族の輪に入りたかったからだと気づいた。兄弟の中でも歳が離れていて思い出も少ないので、これから生まれてきた理由を果たすためにもたくさん家族と旅行に行きたい。あと関わるすべての人に感謝を忘れないようにしたい。
- 目の前の人との時間やさりげない言葉も少しずつ大切にしてみたいと思った。人生の中でそろそろ「大人」になるので、色んな人に元気、笑顔を与えられる人になりたい。
- 産んでくれた親に感謝したいし、寺澤先生のように出産やその後のサポートをしてくださった人にも感謝の気持ちをもちたい。今生きていることに本当に感謝したい。